

うじたわら町 No. 52号 議会だより

Ujitawara Town Council Information

2007. 8



タベのつどい (宇治田原保育所)

●目次(CONTENTS)

●6月定例会	2P
●改正した条例	3P
●一般質問	4P
●委員会研修報告	9P
●インタビュー・編集後記	10P

2007年8月1日 (水) 発行

発行 ● 宇治田原町議会
編集 ● 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡宇治田原町荒木
西出10(〒610-0289)
TEL.(0774)88-2250(代表)
(0774)88-6641(直通)
FAX.(0774)88-6617
メールアドレス gikai@town.ujitawara.kyoto.jp

6月定例会

平成19年第2回定例会は、6月8日に招集され、18日に閉会した。予算関係7件(補正2件、専決5件)、条例関係3件(専決3件)、報告3件が提出された。一般質問には5人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

平成18年度 補正した予算

このたびの補正予算は、決算見込みにもなう各種事業の確定などにより計上したもので、補正額は次のとおりとなった。【専決処分】

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額
一般会計(第5号)	△4,423万円	35億8,496万円
国保会計(第5号)	△3,550万円	8億5,820万円
老人保健会計(第3号)	△3,235万円	8億9,429万円
介護保険会計(第4号)	△167万円	5億3,228万円
公共下水道会計(第3号)	△278万円	5億9,695万円

【可決 全員賛成】

平成19年度 補正した予算

住民の暮らしや健康における安心・安全の確保のため、緊急に対応する必要がある事業を中心として計上したもので補正額は次のとおりとなった。

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額
一般会計(第1号)	100万円	38億 400万円
老人保健会計(第1号)	124万円	9億9,751万円

【可決 全員賛成】

改正した条例

○町税条例の一部改正

【専決処分】

個人住民税の上場株式会社などの譲渡所得などにかかる軽減税率の適用期限の1年延長や、高齢者等が居住する既存住宅のバリアフリー改修にかかる固定資産税の軽減措置。町たばこ税の特例税率の廃止等。

【可決 賛成多数】

反対討論

(安本 修 議員)

住宅のバリアフリー改修を行った場合に固定資産税を減額する特別措置の創設は評価できるが、一握りの富裕層に減税の恩恵が集中する株式等の配当・譲渡益の軽減率が延長されることは問題であり、直ちに撤廃すべき。

この間、国も町も「所得税、住民税の合計額は変わらない」と宣伝してきたが、定率減税全廃による増税が庶民に押し付けられ、昨年と比べて住民税が2倍になった人もいる。

負担能力のある金持ちや空前のもうけをあげている大企業には減税、生活がおびやかされるほどの負担を強いられている庶民にはいっそうの増税というやり方には賛成できない。「国が決めたことだから仕方ない」では、自治体の役割が果たせない。以上、反対とする。

○国民健康保険条例の一部改正

【専決処分】

国民健康保険税の医療分に係る賦課限度額を引き上げるもの。

【可決 賛成多数】

反対討論

(今西久美子 議員)

課税限度額が53万円から56万円へと3万円の引き上げとなる。今年度は、公的年金控除の縮小、老年者控除の廃止にともなう激変緩和措置の2年目になり、昨年度に続き、前年と収入が同じでも国保税が引き上げられることになる。現在、国保税は住民の負担能力を超えるような水準にもなっており、支払い能力に見合ったものに抜本的に改める必要がある。以上、反対討論とする。

○町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

【専決処分】

非常勤消防団員などにかかる扶養親族の給付基礎額を改正するもの。

【可決 全員賛成】

議 会 傍 聴 においで ください

次回、9月定例会は9月7日開会
9月11日一般質問の予定です。

定例会は年4回
(3・6・9・12月)

改正した条例

どう担う

事業実現に向けて本町の役割

宇治田原大石東線

【質問】

渋滞や事故、また道路に歪みや亀裂が入り段差もでき、民家の震動も激しい。拡幅改良事業の進捗状況と見通しは。

【答 弁】

府において、地権者への計画説明、境界確定を完了し、順次個別協議を進めている。今後は地権者はもとより、関係者の理解を賜るよう地元・町・府が連携して促進に全力で努める。

【質問】

地権者の方は、家族構成や家業、立地条件が異なる。例えば、家業としてどうしても必要な土地や建物、駐車場や唯一のお子さんの遊

び場になっているケースもある。促進に向け、町としてどう役割を果たすのか。

【答 弁】

用地提供者の方の意向を十分受け止め、協議をすることが大事。府と十分連携し事業促進に努めていきたい。

【意見】

少子高齢化が進む中、交通弱者を守ること当地区の事情をよく知る本町の役割。また公民館についても安全性・快適性・少子高齢化への適合性の欠落がないよう、しっかりと府に働きかけ、本町の役割を十分果たすべきである。

【質問】

本改良事業実現に向け、また利便性向上と生活道路への流入減少、さらに緑苑

坂の災害時の迂回路の役割も果たす山手線、特に307号から滋賀県側実現に向け、町長はどう考えているのか。

【答 弁】

宇治田原大石東線や山手線は、必要不可欠な道路整備課題である。307号の整備をはじめ、宇治田原大石東線や307号を補完し、本町発展に大きな役割を果たす山手線の整備をいっそう進めるため、全力で取り組む。



西谷 信夫 議員

どう守る まちの森林と自然環境

【質問】

森林は、自然の空気浄化装置。温暖化防止の観点から、森林吸収源対策による林業活性化にどう取り組むのか。

【答 弁】

府の制度利用や、町独自の助成制度を設け、35年生以上の高林令間伐や間伐材出材を推進し、官民共に研究を進め活性化に取り組む。

【質問】

相続事情や就労形態、山の事情を知る人の高齢化により、所有する山林の場所や境界がわからないといった事が増加している。本町の76%が森林という中で、森林整備の雇用・担い手の確保や育成対策は。

【答 弁】

活性化や後継者を育成するためには、林産物を生産し、経営を図る必要がある。利用研究を進め林業活性化と後継者育成のために取り組んでいく。



未整備森林 (左) と整備森林 (右)

【意見】

森林は、所有者や林業に携わる人だけのものではない。温暖化防止に貢献し、人類を含む様々な生物を保全する。担い手の確保育成や山村資源を活用した新たな産業の創出などによる地域づくりに、今後も鋭意取り組みていきたい。

住民との協働で まちの美化推進を

【質問】

まちの美化を推進するため、ゴミの減量をどのように進めるのか。併せて「まちをきれいにする条例」の施行を具体的にどう進めるのか。

「環境保全計画」の見直しは、

【答 弁】

し時期にあたり、住民の地球温暖化防止に対する意識について調査をしてはどうか。具体的には、生ゴミ処理機の普及状況、廃食油の回収と再生利用、不燃物ゴミの分別方法についての考

【答 弁】

平成11年より、生ゴミ処理機購入に対して補助金を交付しており、累計で221台になり、すくなくらず減量化に貢献している。廃食油はリサイクルすれば、軽油の代替燃料（BDF）となる。環境保全の啓発と周知を図り、全地区で実施していただくようお願いする。



山本 泰子
議員

不燃物ゴミは、分け方、出し方についてチラシを全戸に配布して徹底していきたい。「まちをきれいにする条例」は制定したが、現在

施行規則の制定に向け検討している。制定後に推進委員の選出や啓発に努める。環境保全計画の中間見直し及び住民の意識調査は今後検討する。

大地震に対する備えは

【質問】

5月30日に京都府防災会議が開かれ、今世紀前半に発生する可能性が高いとされる「東海・東南海地震」について、これまでの「震度5強、被害わずか」という予想を大きく上回り「府南部を中心に最大震度6弱で、死傷者6千100人、被害家屋6万2300棟のぼる」との予測が公表さ

【答 弁】

防災計画の見直しは急務であり、京都府と同じく平成20年度に行う。

【答 弁】

自主防災リーダー向けに研修を実施、アンケートの分析をしている。今後、自主防災組織検討委員会を開催し、リーダー会議を実施したい。



放水訓練

れた。

今後、地域防災計画の見直しが行われるが、宇治田原町はいつごろから見直し

をされるのか。また自主防災組織結成に向けて、支援事業の進捗状況はどうなっているのか。併せて、備蓄物資の配備、防災機材の整備状況はどうなっているのか。また町のホームページで閲覧できるようにしてはどうか。

備蓄物資について、毛布は本年度で充足率115%で配備を完了。避難所に14台の災害時用ガスコンロ・大鍋を配置する予定。来年度以降、災害用食材を計画的に備蓄していく。地震に対する心構えや被害想定などの情報提供は、町広報紙や町ホームページで行っていく。

一般質問



まちの美化推進風景

「新都市ゾーン」計画の 早期具現化を



垣内秋弘
議員

【質 問】
とあるが、現実的にはどの

【答 弁】
ような状況にあるのか。

【質 問】
砂利採取跡地は、第4次

【答 弁】
砂利採取事業が大規模に

まちづくり総合計画に掲げられていて、将来の宇治田原のイメージを具現化する重要な地域である。複合機能を持った新都市として付加価値の高いまちづくりを進める

行なわれた経緯から、防災面や景観面からも何らかの対応が必要であると判断している。過去2回新市街地誘導調査を実施したが具現化までには至っていないので、引き続き事業実施に向けた取り組みが必要である

【質 問】
当該地域はフラット

広大な砂利採取跡地



な地形になっているところが多く、山手線の計画ルートにもなっている。条件整備次第で活性化が図れる取り組みも期待できる。今この時期に将来構想を前

向きに検討することが大切

ではないか。

【答 弁】
本年度新たに新市街地整

備推進調査事業として、土地利用方策の検討作業を

効果的な有害鳥獣対策を

【質 問】
過去から猿による農作物

への被害に加え、ここ数年は鹿の食害被害が多岐にわたり広範囲に目立つようになり、深刻な問題になっている。このままでは繁殖が激しく至急対策が必要ではないか。

【答 弁】
宇治田原町有害鳥獣駆除

対策協議会を設置し被害防



一見やさしそうな鹿だが・・・

止に取り組んできたが、被害を食止めるに至っていない

【答 弁】
実施する。京都府の関係部署にも参画していただき、事務レベルの研究會組織を立ち上げ、構想実現に向けて取り組んでいきたい。

【質 問】
い。本町では狩猟期に雌鹿

の捕獲が制限されてきた。

この程、国において頭数制

限はあるものの緩和される

ようになったことを受け、

頭数制限の緩和と狩猟者へ

の啓発も含め、京都府にお

願いしていきたい。

【質 問】
有害鳥獣をこれ以上増や

さないようにすることとあ

わせ、各種柵等への補助金

の検討を。

【答 弁】
先進地事例等も研究し制

度利用も含め、検討してい

きたい。

自主防災組織の結成準備は

【質 問】
自分達の地域は自分達が

守る。住民自らが助けあい、有事に備えておく必要があるとのこと、一年前「自主防災組織」の立ち上げに

向けリーダーが選出されたが、その後結成に向けての準備状況は。

【答 弁】
リーダーを選出し各種研

修会を経て、各地域でアンケートを実施、現在分析している。今後はモデル地域

活動に取組み自主防災組織の早期立上げをめざす。

【質 問】
消防団及び福祉関係者と

の連携、資機材等の整備は。

【答 弁】
消防団との関係、地域と

の連携を密にし指導、支援をいただく。また民生児童委員協議会、社会福祉協議会とも連携して取り組む。

資機材等の整備は、府の補助制度の活用も検討したい。

合併しなくても破綻しない 自立のまちづくりを



今西久美子
議員

住民の論議は 高まったか

【質問】

合併任意協議会の財政シミュレーションによれば、2市2町とも合併しなくても破綻しないことが明らかになった。町長は「財政的にやっていけるのならば、合併しない方がきめ細かな行政ができてよい」といつていたが現時点での考えは。

【質問】

合併任意協議会には、住民代表が2名入り、住民に情報を提供し、出前講座や、わいわい座談会など、住民との懇談や意見交換をしているとのことだが、住民の合併論議は高まったか。

【答 弁】

今のところ構成市町では、合併論議が冷え込んでいると思われる。これから任意協議会の協議をする中で、住民に情報を提供し、合併についての議論を深めていただきたい。

【質問】

今後、住民意向調査を実施されるが、合併議論が冷

え込んだまま、アンケートだけ実施するというのは、本当に住民の正しい意思を聞いたのが問われる。宇治田原町のまちづくり全体について、自治会や区単位、もっと細かい単位での住民懇談会の開催が必要ではないか。

【意見】

任意協がはじまって1年が経つが、合併論議は冷え込んだままというのは、今回の合併が理念も意義もないということ。宇治田原住民の利益にはならない合併議論よりも、住民が真に主人公となるまちづくりへの努力を。

【答 弁】

新都市基本構想案は、概要版を全戸配布し、住民への周知を図り、合併問題について考えていただき、意

ど利用の際に必要な健康診断書への助成の考えはないか。

【答 弁】

税制改革により、介護保険の保険料段階が上がる場合があることから、2年間の激変緩和措置が講じられている。介護保険料については低所得者の負担軽減を図るため、6段階を8段階にするともに、利用負担軽減措置なども設けている。新たな軽減措置については、考えていない。

【質問】

総合文化センターは2階にしか洋式トイレがない。3階にも設置を。

【答 弁】

総合文化センターは、2階に洋式トイレ1基と、身障者用のトイレを併設しており、3階からはエレベーター移動による利用をお願いしている。洋式トイレについては、衛生面での配慮も必要であり、今後の検討課題である。

洋式トイレの 設置を



2階にある洋式トイレ

介護保険の 負担軽減を

【質問】

税制の改定で、収入が変

わらないのに介護保険料が値上がりした方がいる。来年度までの激変緩和措置を継続し、負担増分は町独自で軽減を。デイサービスな

地域で支える

高齢者福祉の充実を

高齢者虐待の実態はどうか

【質問】

本町の高齢化率も20%に伸長した。中でも要支援要介護者の方が40人近くおられる。介護疲れからくる、高齢者虐待の実態とその防止策についてどのように考えているのか。

【答弁】

高齢者に対する虐待については、暴行的虐待、心理的な虐待、介護放棄、性的暴力、経済的虐待に分類される。以上の分類から昨年の高齢者虐待の実態は、被虐待者の届出1件、近隣住民の届出通報が3件であった。事実確認の結果虐待と判断した事例は1件であった。身体的虐待と経済

的虐待が重なった内容であり、緊急対応として介護保険サービスのショートステイにつき、経済的な虐待は社協の協力を得て青年後

見人制度により財産管理を委託した。通報のあった3件は引き続き訪問による調査、相談により動向を見守っている。

元気な高齢者を支援する事業の進捗は

【質問】

第4次まちづくり総合計画のなかで、「元気なお年寄りが生き生きと生活できる高齢者福祉の充実」により要介護状態にならない予防対策の充実を図る。そのために新体制組織を構築された。今日までの取組みと現状は。

元気はつらつ若返り塾については、当初、老人保健事業の機能訓練事業として開始したが、昨年から介護予防事業の一環として、寝たきり予防、生活習慣の改善に好評であり盛況になってきた。専門スタッフによる健康状態のチェック

元気はつらつ若返り塾にや体力等を個別に把握し、参加者の状況に合わせて介護予防に努めている。一昨年に比べて大幅に増加しており、本年は参加者の回数増加希望に対応していきたい。



小林 昭次 議員



元気はつらつ若返り塾

高齢者見守り隊の立ち上げを

【質問】

本町における高齢化に伴って世帯人員別世帯数の中で老夫婦2人世帯、または1人暮らし家庭が総世帯数の1/3になっている。そのため悪質商法の被害、また孤独死など高齢者を取り巻く生活の中で様々な問題が発生している。地域における高齢者や支援の必要な人たちを一人ぼっちにさせない取組みが必要ではないか。

【答弁】

地域包括支援センターによる生活における実態把握や介護状態とならない予防のため同居高齢者家庭の「おたつしや訪問」として保健師が巡回訪問をしている。また社協が月2回の配食サービスによる見守りを実施している。今後は、地域住民による自主的な組織を構築して安心・安全なまちづくりを図るため自主防災組織支援事業との連携を図り検討していく。



社協配食サービスによる見守り

総務産業常任委員会
研修報告

合併の経緯

○平成19年5月28日

○研修先 京都府京丹波町

○研修目的 「合併後のまちづくり」

総務産業常任委員会は京丹波町を訪問し「合併後のまちづくり」の取り組み経過と現状についてをテーマに視察研修を行いました。

京丹波町は、平成17年10月11日、丹波町・瑞穂町・和知町が合併して誕生しました。

人口約1万7千人、面積は303・07平方キロメートルで、将来目標像「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷」をめざします



亀岡市、北桑田郡、船井郡の1市8町が「京都中部地域行政改革推進会議」を設立。合併の是非や枠組みを検討し、アンケート調査や調整懇談会を実施。各町の意向をとりまとめ、地理的条件、風土、行政課題の共通性などを総合的に勘案した結果、住民の顔が見え

る2万人以下の合併が望ましいということで、3町の枠組みで合併することとされました。

公共料金は3町で格差があり、今後、公共料金検討委員会で検討されることとなっています。

情報基盤の整備、保育所の建設、水道の統合、ダムの建設などの課題があります。

合併しても2万人以下の小さな町がどう生き残っていくのか全体の知恵が必要であり、地域の人々が主体的に考えられる場、まちづくりに参加できる機会が必要です。

暑中お見舞い申し上げます

議員

- | | |
|----|-----|
| 西川 | 芳次 |
| 垣内 | 秋弘 |
| 今西 | 久美子 |
| 安本 | 修 |
| 山本 | 泰子 |
| 小林 | 昭次 |
| 西谷 | 信夫 |
| 安井 | サダ |
| 下岡 | 貴史 |
| 森田 | 木一 |
| 下岡 | 周之 |
| 青山 | 美義 |
| 弦川 | 孝治 |
- (議席順)



研修報告

